

## <ご参考>

### **大規模ハイテク菜園**

オランダの栽培技術を導入。温室内の温度、湿度、灌水などはコンピュータによって自動的に制御される。収穫は人の手によって丁寧に行われる。

### **ロックウール養液栽培**

自然の岩石を溶かしてスポンジ状に固めたロックウールを培地とし、液体肥料を与える栽培方法。土壌病原菌の持ち込みがなく、肥料・水分含量他の管理が正確かつ効率的に行える。

### **多段収穫**

1本の樹を15～20mまで伸ばし続ける栽培方法。10カ月間の連続収穫が可能。樹の先は天井から誘導フックでつるし、フックを移動させることで樹を伸ばし続ける。

### **カゴメの生鮮トマト事業の推移**

98年4月	事業部設立。「新・創業」計画の新規事業の1つ
99年6月	美野里菜園(茨城県美野里町、カゴメが設備保有)が竣工し、本格参入
01年10月	世羅菜園(広島県世羅町)が出荷開始
01年10月	生鮮トマトを「こくみトマト」のブランドで発売開始
03年10月	四万十みはら菜園(高知県三原村)が出荷開始
04年8月	安曇野みさと菜園(長野県三郷村)が出荷開始
04年9月	山田みどり菜園(千葉県山田町)が出荷開始
05年8月	いわき小名浜菜園(福島県いわき市)が出荷開始予定
05年10月	加太菜園(和歌山県和歌山市)が出荷開始予定

### **カゴメ生鮮トマト事業の売上高、出荷量の推移**

03年3月期	18億円、約3,200t
04年3月期	24億円、約5,000t
05年3月期	40億円、約7,000t(計画)
07年3月期	100億円、約2万t(目標)

03年度の国産トマトの総収穫量は、75万9200t(農水省統計04年3月)であり、カゴメの現在の生産量は全体の約1%に相当

以上

### **響灘菜園 完成イメージ**

